

# 金沢大学地域創造学類 里山里海アクティビティ 能登発見エクスカージョン

実施報告書

2012年2月11日（土）～12日（日）

## 「奥能登の地域活性化に取り組む人に出会うスタディーツアー」に10人参加



金沢大学地域創造学類の佐川哲也教授主催のスタディーツアーを、昨年に引き続き「里山里海アクティビティ」がコーディネートしました。このツアーは1年生を対象とし、奥能登で地域活性化に取り組んでいる人々と語り、広く学んでもらうことが目的。地域創造学類の1年生8名、大学院生と教員のの合計10名が、奥能登を1泊2日で体験しました。

### ツアーの目的

能登半島に暮らす地域の人々の生活や生業について、現地で見学し、話を聞き、直接体験することによって、地域への関心を高め、地域課題の理解をひろげること。

### 1日目

1日目 午前 プログラム

#### ◆金沢大学能登里山マスター養成プログラムの説明 & プログラム修了生と語ろう

金沢大学能登里山マスター養成プログラムについて伊藤浩二特任教授から紹介を受けた後、プログラム修了生である、後藤祐介、後藤美穂、佐野禎宣の3名からマスターとしての活動や想いを聞きました。最後に学生が一人ずつ感じた事を発表しシェアしました。

講義会場：能登学舎2F

昼食 能登学舎食堂 ネパールカレー（協力：村上デビさん）

後藤祐介さん、東京都出身、「空き家を利活用した移住・交流促進モデルの構築」のテーマでマスターの修了課題を作成。学生によそ者の役割と困難について話した。



後藤美穂さん、富山県出身、「やぎ飼育を活用した農家民宿開業計画」のテーマでマスターの修了課題を作成。



まずマスタープログラムの概要を紹介 →



佐野禎宣さん、能登町出身、「能登での里山利活用によるビジネスの構築」のテーマでマスターの修了課題を作成。



← 昼食にネパールカレーをいただいた後、作ってくれた村上デビさんからお話を聞きました。



## 地元学を体験



現場へ出る前に、(株)ぶなの森、山崎さんより、地元学の重要性、具体的な調査方法の説明、礼儀の大切さなどを教わります。



←各班、歩きながら自身で分からないもの、おもしろいと思ったものを、写真に撮っていく。↓



←水野さん宅

↓角さん宅



↑池田さん宅  
西房さん宅→



角さん宅の、人なつこいネコ ↓



← 水野さん宅の囲炉裏の上



調査後、地域資源カードを20テーマ作成。写真やイラスト、テーマ、集めた情報を記入 →



# 1日目

## 1日目 午後 プログラム

### ◆能登町黒川地区の暮らしを尋ねて聞き書き

岩井戸地区振興協議会と(株)ぶなの森の協力のもと、能登町黒川地区で聞き書きを実施しました。黒川地区の川崎区長のあいさつ、佐川先生からプログラムの目的説明、そして(株)ぶなの森山崎さんより地元学の手法について教わった後、4班に分かれて集落をまわりました。

岩井戸地区振興協議会 (株)ぶなの森

夕食 セミナーハウス「やまびこ」

### ◆調査報告と交流会

報告会は、岩井戸地区振興協議会 水野会長のあいさつではじまり、各班約20分ずつ発表しました。学生は地域の方々と交流をおこないながら地域資源カードを作成しました。



↑夕食では海藻鍋を体験。新鮮なもののほ色が変わります。



↑報告会は岩井戸振興協議会水野会長の挨拶でスタート。



**報告会** 学生から、柱が赤く塗られている理由、キノコの塩漬け、猿鬼伝説、集落名の由来、あえのこと、炭焼きなど様々な新しい発見が報告されました。その報告に刺激されるように、地域の方々からも関連情報がたくさん引き出されました。



↑交流会では話が盛り上がり時間延長の場面も。黒川地区のみなさん、ご協力ありがとうございました。



## カキ養殖棚見学



←まず、河端さんから、カキ養殖の現状や体験の注意事項の説明を受けました

船に乗るため、救命胴衣を着用 →



← 2組に分かれて乗船。養殖場に向かいます。

穏やかな内海を数分間移動 →



←収穫したカキに付着している貝や藻など、船上で余計なものを落とします。冷たく細かいですが、商品化には大切な作業を学びました。



## 2日目

2日目 午前 プログラム

### ◆カキ養殖場の視察・カキ養殖について講義

能登の内海でカキ養殖棚を見学した後、石川県水産総合センターの鮎川氏よりカキ養殖の講義を受けました。  
昼食に、自分たちが養殖棚で収穫したカキの炭焼きを体験しました。  
協力:カキ養殖 河端勝男氏 会場:穴水町岩車

カキ養殖について鮎川さんから詳しくお話。いま見てきたことだけに、とても興味深く学びました →

河端さんとともに、都会の若者と田舎体験・交流のNPO活動を行っている新田さん(穴水町議)も同席、お話を聞かせてもらいました ↓



お世話になった河端さんご夫妻。どうもありがとうございました！

## 2日目

2日目 午後 プログラム

### ◆のと鉄道穴水駅舎を活用した地域活性化

穴水地域づくり協議会の角章子さんから、のと鉄道の穴水駅舎を活用した地域活性化の取り組みについて紹介いただきました。  
講義会場:穴水町さわやか交流館ブルー 1F



角さんのお話。能登半島地域のイベントや、子供とアートを使った能登鉄道ホームのにぎわい創出、現在盛り上げている「のとりのあーな」などいろんな話をお聞きました。



← のと鉄道の山下社長から能登鉄道の近況説明。アニメ効果などで今年度は乗車率がよく、今後もさまざまなイベントを仕掛けてさらなる集客に努めたいとのこと。



鉄道ホームは角さんが絵を描いた記念撮影用の看板でおどむかえ。



今は休憩場所として活用されている「のと恋路号」の前で記念撮影。